

平成 15 年 5 月 23 日

財団法人 関西社会経済研究所

## 関西自治体経営評価 2003 年版

### 行政運営、財政力、厚生水準から見た、関西 48 市の上位自治体ランキング

財団法人関西社会経済研究所（会長：秋山喜久、所長：本間正明）では、地方分権の担い手となるべき地方自治体が果たして本当にその資格を有しているかを評価するため、平成 14 年 7 月から「関西自治体経営評価委員会」（委員長：本間正明、主査：跡田直澄・慶応義塾大学教授）を発足させ、研究を重ねて参りました。研究成果の要約は以下の通りです。

#### 関西自治体経営評価とは

地方自治体が、来るべき地方分権型社会の主な担い手としてふさわしい存在かどうかをできるかぎり多面的かつ客観的に評価するために、3つの視点からそれぞれ評価を行い、ランキングを実施した。1つめは、地方自治体が組織としていかに整合性のある意思決定を行い、効率的で透明性の高いプロセスにより行政を執行しているかを検証する「行政運営の評価」。2つめは、健全な自治体経営を行う上で欠くことのできない「財政力の評価」。3つめが、各地域の住民が地方自治体から得ている財やサービスのレベルを問う「厚生水準の評価」である。関西自治体経営評価とは、これら3つの評価の総称であるが、あわせてこれらの評価結果をもとに「総合評価」を行った。

評価対象は、関西2府7県（福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島）の人口10万人以上の全48市を対象とした。

なお、この評価は優れた地方自治体の例を広く公開し、地方行政の改革を進めることを目的とするため、今回は上位自治体のみを公表することとした。

## 総合評価

### 評価の考え方

「行政運営の評価」、「財政力の評価」、「厚生水準の評価」の結果を集計し、自治体経営全般の評価を行った。

### 評価方法

上記3つの評価結果（偏差値）の和をもって総合評価の結果とした。

### 評価結果

順位	都市名（府県名）	総合評価 （偏差値の総和）	行政運営 （偏差値）	財政力 （偏差値）	厚生水準 （偏差値）
1	宝塚市（兵庫）	174.86	50.04	52.76	72.06
2	尼崎市（兵庫）	174.04	53.81	47.28	72.96
3	津市（三重）	168.43	56.70	59.23	52.50
4	三田市（兵庫）	165.16	50.54	55.14	59.49
5	宇治市（京都）	163.89	49.98	55.93	57.98
6	河内長野市（大阪）	162.58	50.32	57.91	54.35
7	加古川市（兵庫）	161.85	49.79	58.35	53.71
8	明石市（兵庫）	161.49	51.85	53.59	56.04
9	箕面市（大阪）	161.48	55.67	55.07	50.73
10	彦根市（滋賀）	160.42	51.97	57.27	51.19

- ・ 兵庫県内の市（評価対象 48 市中 10 市）が上位 10 市のうち半分の 5 市を占める一方で、大阪府内の市（同 48 市中 21 市）がわずか 2 市にとどまる結果となった。
- ・ 1 位の宝塚市、2 位の尼崎市とも、行政運営、財政力の両分野では平均的な結果にとどまったが、厚生水準の評価が極めて高く、それが全体を押し上げる結果となった。
- ・ それに対して 3 位の津市は、行政運営、財政力の評価でそれぞれ 1 位と 2 位を占めた上、厚生水準でも平均以上の値を示し、全体的にバランスのとれた結果となった。

## 行政運営の評価

### 評価の考え方

地方自治体が組織としていかに整合性のある意思決定を行い、効率的で透明性の高いプロセスにより行政を執行しているかを検証した。「財政力の評価」と「厚生水準の評価」が自治体経営のアウトプットの評価であるとする、この「行政運営の評価」はその前提となる組織運営の評価であると位置づけられる。

### 評価方法

評価対象全 48 市に対してアンケート調査を実施し、その結果をもとに評価を行った（回答数 40 市）。アンケートには、総合計画、行政評価、情報公開など 7 つの評価分野に 59 の設問を設けたが、最初に個々の設問に対する各自治体の偏差値を算出し、次いでその結果から評価分野ごとの平均偏差値、さらに評価分野ごとの平均偏差値から行政運営全体の平均偏差値を算出した。

### 評価結果

順位	都市名（府県名）	偏差値
1	津市（三重）	56.70
2	大阪市（大阪）	56.22
3	箕面市（大阪）	55.67
4	川西市（兵庫）	55.59
5	枚方市（大阪）	53.87
6	尼崎市（兵庫）	53.81
7	姫路市（兵庫）	52.65
8	伊丹市（兵庫）	52.55
9	寝屋川市（大阪）	52.31
10	彦根市（滋賀）	51.97

- ・ 7 つの評価分野全てにおいてバランスよく平均を上回った、津市が 1 位となった。
- ・ 兵庫県内の市（評価対象 48 市中 10 市）が上位 10 市のうち 4 市を占めた。

## 財政力の評価

### 評価の考え方

財政力の評価指標として、ここでは「債務償還年数」を使用した。債務償還年数は「年度末純債務残高 / 経常収支」で表されるが、純債務というストックから見た長期的な財政状態と、経常収支というフローから見た短期的な財政余力の比を取ることで、中長期的な財務健全性を測れるというのがその理由である。

### 評価方法

純債務は、負債（地方債現在高、債務負担行為額、退職給与引当金、翌年度繰上充用金）から資産（歳計現金、財政調整基金）を差し引いて求めた。経常収支は、一般財源（元本回収除く）から経常経費充当一般財源（元本償還除く）を差し引いて求めた。データとしては、『市町村別決算状況調』（1999年度）等を用いた。

### 評価結果

順位	都市名（府県名）	債務償還年数	偏差値
1	鈴鹿市（三重）	4.34	59.32
2	津市（三重）	4.41	59.23
3	姫路市（兵庫）	4.69	58.90
4	桑名市（三重）	4.83	58.74
5	加古川市（兵庫）	5.15	58.35
6	富田林市（大阪）	5.27	58.21
7	生駒市（奈良）	5.34	58.12
8	松阪市（三重）	5.36	58.10
9	伊勢市（三重）	5.40	58.05
10	河内長野市（大阪）	5.52	57.91

- ・ 三重県内の市（評価対象 48 市中 6 市）が上位 10 市のうち半分の 5 市を占め、その財政力の高さが際だつ結果となった。

## 厚生水準の評価

### 評価の考え方

自治体経営においては、収益の最大化が一番の目的ではなく、適正な行政コストで住民の受益の最大化を図ることが重要である。そういう観点からいうと、「財政力の評価」だけでは自治体経営のアウトプットの善し悪しは評価できない。ここでは、地域住民が、地方自治体が提供する財やサービスから得ている厚生水準を推計した。

### 評価方法

まず、地方自治体が提供する財やサービスを民生費や土木費など7つの地方公共財に分類した上で、各地方公共財消費が住民の効用に対して有するウェイトの推計と、自治体ごとの各地方公共財供給量の算出を行った。次いで、その地方公共財の供給量と消費にかかるウェイトを用いて、住民が地方公共財から得ている厚生水準を推計した。データとしては、『市町村分地方交付税算定台帳』（1999年度）等を用いた。

### 評価結果

順位	都市名（府県名）	厚生水準 推計値	偏差値
1	尼崎市（兵庫）	2.47	72.96
2	宝塚市（兵庫）	2.44	72.06
3	池田市（大阪）	2.32	67.76
4	西宮市（兵庫）	2.26	65.54
5	大阪市（大阪）	2.22	64.09
6	神戸市（兵庫）	2.21	63.66
7	堺市（大阪）	2.21	63.60
8	三田市（兵庫）	2.09	59.49
9	橿原市（奈良）	2.07	58.45
10	宇治市（京都）	2.05	57.98

- ・ 兵庫県内の市(評価対象 48 市中 10 市)が上位 10 市のうち半分の 5 市を占めた。
- ・ 大阪市、神戸市、堺市などの大都市がランクインした。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

財団法人 関西社会経済研究所（担当：岡本、芝原）

TEL：06 - 6441 - 5750

FAX：06 - 6441 - 5760